

# 来年度予算の編成方針はいかに

山田町長／最少の経費で最大の効果を発揮する

**北郷** 平成23年度の予算編成の基本方針と具体的な重点事業を伺います。

**町長** 予算は、「最少の経費で最大の効果」が発揮できる予算編成を目指します。また、具体的な重点事業については、「町民と共に歩む、安全・安心で豊かな活力ある町づくり」を目指し、継続事業である「日の出橋整備事業」や町道小

松・南山線橋梁整備事業の推進、子宮頸がん予防ワクチン等の予防接種助成事業等を考えています。

次に、一般会計歳入見込みの今年度との対比は、主要財源である固定資産税収入が減少する中、普通交付税の伸びも多くは望めない状況であり、前年度を下回る歳入見込みです。なお、滞納整理を含めた増収対策については、納税者の税負担の公平性と財源の確保をはかるため、滞納額の縮減に全力で取り組みます。

また、具体的な重点事業については、「町民と共に歩む、安全・安心で豊かな活力ある町づくり」を目指し、継続事業である「日の出橋整備事業」や町道小



▲カレー作りに挑む男子児童（児童館お楽しみ会）

北郷 幹夫 議員

# 児童館の入館対象年齢を延長せよ

山田町長／対象年齢の延長は困難

**北郷** 児童館は、両親が共働きなどで昼間不在になる家庭の小学1年生から、5年生の児童を預かり、健全な育成を推進しています。

平成23年度児童館入館の募集（約100人）がありましたが、現在、児童館に入館している児童数と指導職員（児童厚生員）数について伺います。

国では、原則として小学校卒業までを入館対象とする方針を示し、郡内では樺葉町、双葉町で小学6年生までを対象としています。当町も、対象学年を6年生まで延長し、子育て環境の支援をはかるべきではないですか。

**町長** 12月1日現在の登録児童は101人で、児童厚生員は職員2人、臨時職員4人の計6人に対応しています。

次に、利用学年の延長については、現在在の定員数は100人で、11月の1日平均利用者数は98人であり、施設の規模および児童の安全確保等の観点から、6年生までの受け入れは難しい現状にあります。

# 企業誘致と工業団地造成の展望はいかに

山田町長／情報収集に努め慎重に対応していく

**鈴木** 現在操業中の誘致企業の現状と実績について、また、国で加盟の是非をめくり論争されている（※）TPPに関し、大きな影響を受ける可能性がある企業について、どのように把握していますか。

また、新規企業の誘致活動の現状と、本年3月の完成を目指していた工業団地の拡張工事に関して、今後の計画はどのようなものですか。

**町長** リーマンショック以後、経済・雇用情勢は依然として厳しく、今後もさらに、関係機関と緊密な連携をはかりながら、効果的な対策に取り組む必要があると考えています。

TPPに関する影響については、企業のほとんどが部品や原材料などの製造業であり、製品としての輸出はなく、大きな影響を受けることはないと考えていますが、さらに調査して参ります。

また、工業団地拡張工事については、今後の経済状況と町の財政力を踏まえ、福島県東京事務所と連携をはかり、慎重に対応していきます。

# 地域の伝統・文化を守れ

山田町長／今後も大切に受け継いでいく

**鈴木** 最近、県における民俗芸能の36%が継承されずに消滅したと報じられ、我が町でも似た例が多く、子どもと高齢者など世代間の貴重な交流の機会が失われると危惧されています。

今後は、どのようにして失われたものや失われようとしているものを、復活あるいは継承していくのですか。

**町長** 町内の民俗芸能伝承状況を調査した結果、上北迫大平地区（太田農神社）の盆踊りと南沢地区の獅子舞の2件が継承されていませんでした。

今後も地域の伝統・文化が後世に引き継がれていくよう、できるかぎり応援して参ります。



鈴木 正範 議員

※TPP  
6ページを参照



▲平成21年 大滝神社の「浜下り神事」

# 電源供給地としての今後の街づくりは

山田町長／優位性を活かした雇用の創出と地域の振興をはかる

**鈴木** 広野火力6号機の建設工事は、完成に向け順調に進んでいると聞いていますが、今後営業運転が開始されてから、電源供給地としてどのような町づくりを進めていくのか、その指針をお示しください。

**町長** 発電所建設関連雇用に代わる就業の場の確保に向けて、電源立地地域の優位性を活かし、今後の成長産業である環境・新エネルギー産業等も誘致対象に加えた新たな誘致活動を推進するとともに、既存企業と連携し、雇用の創出および地域振興をはかっていきたいと考えています。